

## COC Monthly News Letter

COC: Center of Community (地(知)の拠点)

Yamanashi Prefectural University

山梨県立大学の地域貢献  
活動を毎月1回お届けします。

2014年10月号

Vol.

05

グローバルな知の拠点となる大学  
未来の実践的担い手を育てる大学  
地域に開かれ地域と向き合う大学

## Topics 最新のニュース・話題など大学での出来事をお伝えします。

## ◇氷見市フューチャーセンター視察

9月16日(火) 富山県にある氷見市に、今年5月に出来たばかりの新市庁舎の視察のためお伺いしました。この庁舎は、既存庁舎の老朽化や耐震性に関する問題を受けて、旧高等学校の庁舎を改修して整備されたものです。その特徴とは、何と言っても多様な対話の空間、フューチャーセンターを設けていることです。1階に設けられた市民協働スペースに加え、職員の執務空間にも、趣向を凝らした多様な対話空間が設けられ、視察に伺った際も市長や職員によるオープンな対話が行われていました。これらの空間は、昨年就任した本川市長の対話を重視する政策方針を具現化したもので、こうしたデザインにもワークショップを通じて市民のアイデアが数多く活かされているとのこと。さらに5月の庁舎オープンに先立ち、対話の場や企画ファシリテーションを行う専門の部署を設け、スキルを持つ人材を新たに雇用しました。その名も「市民参加と協働・防災デザイン課」です。行政や市民との対話の形を変えていくことで地域を活性化していくとする取り組みは、本学の目指すフューチャーセンターと共通点も多く、大変参考になりました。特に、これからの行政は各分野の専門家としてだけでなく、市民協働の起点となるファシリテーションを担う役割が期待されていること、そのための人材を育てていくことが重要であることを強く感じました。同時に氷見市において庁内での対話の機会を設けているように、本学においても学内の対話を活性化していくことが重要であると痛感しました。

## ◇“ふれあい重視の在宅ケアネット構築「ほうとうとおはぎを作り交流する会」

9月23日(火・祝) 在宅看護サークルメンバーが地域の皆さんとのふれあいを大切にして、地域につながりを深めていくことを目的に活動している一環で、「ほうとうとおはぎを作り交流する会」を行いました。当日は、老人クラブのみなさんにほうとうとおはぎの作り方を教えて頂き、一緒に食して交流を深めながら、地域の皆さんからたくさんのご意見を学びました。

## イベント情報 気になる話題の情報やためになる講習会や研修をご紹介します。

## ★第4回『花子とアン』のまちづくり -甲府市での観光振興の試み-

NHK 連続テレビ小説『花子とアン』を、甲府市はどのように観光振興に結び付けようとしたのか、映像や商品を変え、誰にでもわかりやすくご紹介いたします。また県立大生が支援した事例なども紹介しながら、関係者の熱い思いをご報告いたします。

【日時】10月11日(土) 14:00~15:30

【場所】山梨県立大学飯田キャンパス A館6階サテライト教室

【参加料】無料

【問い合わせ先】山梨県立大学地域交流センター Tel:055-224-5260 Fax:055-224-5386

Mail: ucre-accept@yamanashi-ken.ac.jp

## ★第20回聖灯祭 in 山梨県立大学 池田キャンパス

10月11日(土) 第20回聖灯祭が池田キャンパスにて開催されます。主な催しとしては、模擬店やバザー、甲府一高吹奏楽や県大ダンスや和太鼓発表などで、イベントが盛りだくさん。島田秀平トークショーもあります。ぜひ遊びに来て下さい。

## 今月のプロジェクト 大学が自信を持っておすすめするプロジェクトのご案内。

### < “ふれあい重視” の在宅ケア・ネット構築プロジェクト >

住み慣れた地域で高齢になっても病気になっても安心して住み続けられるためには、きめ細やかな重層的な在宅ケア・ネットワークの構築と推進がますます重要になってくると考えます。

本プロジェクトは、①地域課題に対し学生とともに、人と人が“ふれあい”を大切にしながら地域でのつながりを広げていく活動を通して、社会に貢献できる人材育成②認知症支援における専門職の困難とその対処方法を調査し、課題を明確にすることでその対処方法の検討 の 2 点を主な活動の目標においています。超高齢化社会において、今後ますます増加する認知症予防や支援を見据えた活動に位置づいて行けたらと、教員・学生や県・山梨市・韮崎市などの関係者のみなさんと楽しく悩みながらも取り組んでおります。

### 担当教員紹介 個性派揃いの優秀な教員の意外な素顔を紹介します。



看護学部/佐藤悦子教授

在宅看護を専門に、どこで生活しても安心・安全・納得した人々の暮らしを支援できる看護職をめざして、みんなでがんばっています。

COC 事業の一環で、9月23日に大学周辺の高齢者のみな様と学生・教員、総勢約50名で「ほうとうとおはぎを作って交流しよう」を学生たちの力で実現させました。とにかく、楽しい交流会になりました。この活動を通し学生たちは、地域ニーズから自分たちのできることを検討し、企画、実施、評価の一連の過程を体験しました。この活動を実施するためには、どうやって地域の皆様に賛同とご協力が頂けるか、悩みながら努力し得られた学びは大きかったと思います。そして、学生一人ひとりが地域の皆様の暖かさを実感しました。

まさに“ふれあい重視”、私はこういった活動が、大好きです。

### 編集後記

9月26日より後期授業が始まり、大学内も賑やかさを取り戻しつつあります。秋は、幼稚園・小学校では運動会、中学・高校・大学では学園祭とイベントが盛りだくさんです。若いエネルギーを思う存分発揮し、今しか出来ない事を楽しんで欲しいと思います。わが息子も運動しか取り得がないので、中学の体育祭では大活躍でした。学園祭に向けての準備期間はパワーにみなぎっていましたが、そのパワーを少しでも勉強に向けてくれたらと思うのは私だけでしょうか。 mika

編集発行: 公立大学法人 山梨県立大学 地域戦略総合センター

〒400-0035 山梨県甲府市飯田5-11-1 TEL:055-225-5412 FAX:055-225-1150

ポータルサイトURL <http://region.yamanashi-ken.ac.jp/>

購読申し込みURL <http://region.yamanashi-ken.ac.jp/newsletter>

文部科学省



地(知)の拠点

